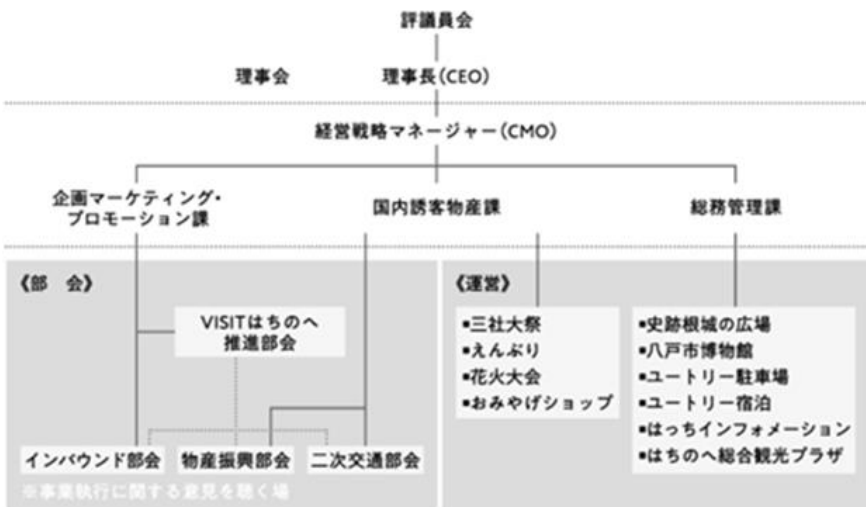


## 日本版DMO形成・確立計画

## 1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	一般財団法人 VISIT はちのへ	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町	
所在地	青森県八戸市	
設立時期	平成 31 年 4 月 1 日	
職員数	87 名（正規雇用：28 人、非正規雇用：59 人）	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 塚原 隆市 （出身組織名） （公社）八戸観光コンベンション協会（南部電機(株)）	当団体の合併法人である（公社）八戸観光コンベンション協会、八戸広域観光推進協議会の会長を務めるとともに、当団体合併に向けた組織、事業等を検討する VISIT はちのへ設立準備委員会委員長として当団体設立を強力に牽引。
各種データの分析・収集等（マーケティング）の責任者（専門人材）	（氏名） 西野 正紀「専従」 （出身組織名） （公社）八戸観光コンベンション協会	東北大学公共政策大学院卒業後、平成 19 年マーケティングリサーチ業界国内最大手である株式会社インテージに入社。企画営業職など約 8 年勤め、平成 27 年 12 月より（公社）八戸観光コンベンション協会に就職。
経営マーケティング戦略部門の責任者	（氏名） 村木 智裕 （出身組織名） （株）Intheory	平成 10 年に広島県庁に入庁後、財政課、県議会議長秘書等に従事したのち、平成 23 年より広島県瀬戸内海の道プロジェクトチームに所属し、せとうち DMO 設立を担当する。現在は、せとうち DMO のマーケティングの責任者として活動すると共に、平成 30 年に設立した（株）Intheory の代表取締役として、DMO 設立・運営・戦略立案やインバウンドマーケティング支援等に取り組んでいる。
企画プロモーション部門の責任者	（氏名） 酒井 敦「専従」 （出身組織名） 八戸市	平成 30 年に八戸市観光課に配属。VISIT はちのへの設立に向けて各種検討する VISIT はちのへ設立準備委員会事務局の中核として、組織、事業等の検討に携わる。
企画プロモーション部門の責任者（インバウンド担当）	（氏名） マシュー・リチャード・ボラ「専従」 （出身組織名） （公社）八戸観光コンベンション協会	米国出身。平成 27 年から平成 30 年 8 月までの 3 年間、国際交流員として八戸市に勤務。平成 30 年 8 月より（公社）八戸観光コンベンション協会に就職。国際交流員としての勤務経験を活かし、フェイスブックページ「VISIT-HACHINOHE」による外国人向け情報発信や、外国人受入対応強化事業に取り組んでいる。
誘客物産部門の責任者	（氏名） 木村 聡「専従」 （出身組織名） （公社）八戸観光コンベンション協会	平成 22 年に八戸広域観光推進協議会、平成 25 年に（公社）八戸観光コンベンション協会の観光コーディネーターに就任。これまで、はちのへエリア広域観光戦略策定をはじめ、体験型旅行商品開発などに携わり、当地域の広域観光振興を牽引。平成 15 年に設立した「八戸せんべい汁研究所」所長を務め、当地域ならではの食を活かしたまちづくり活動も積極的に取り組んでいる。

(別添) 様式 1

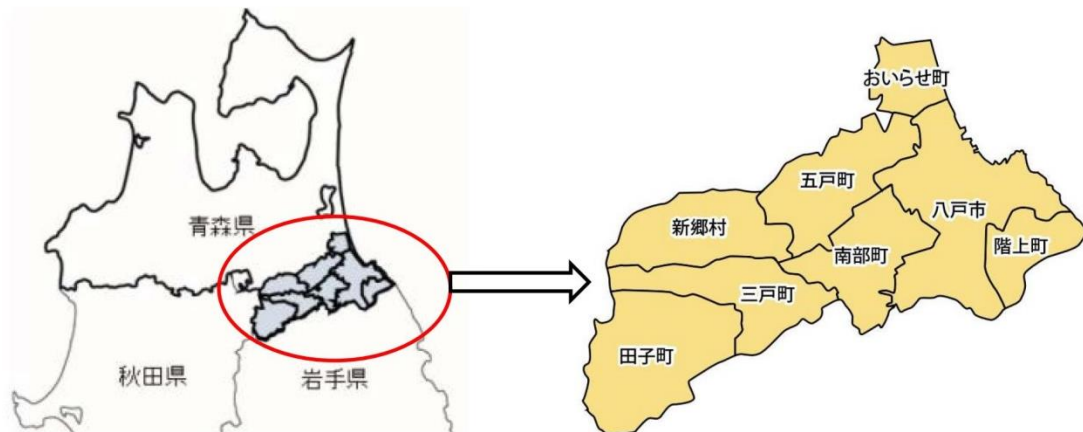
<p>総務管理部門の責任者</p>	<p>(氏名) 高村 博現「専従」 (出身組織名) (一財)八戸地域地場産業振興センター</p>	<p>(一財)八戸地域地場産業振興センターに19年勤務。現在は、振興管理課長として、これまでの豊富な経験を活かし、自社施設管理運営をはじめとする当該センター業務全般を統括している。</p>
<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>八戸市観光課(観光誘客、物産振興) 三戸町まちづくり推進課(観光誘客、物産振興) 五戸町総合政策課(観光誘客、物産振興) 田子町産業振興課(観光誘客、物産振興)・6次産業推進室(物産振興)、 南部町商工観光課(観光誘客・物産振興)・交流推進課(物産振興) 階上町産業振興課(観光誘客・物産振興) 新郷村産業建設課(観光誘客・物産振興)・総務課(物産振興) おいらせ町商工観光課(観光誘客・物産振興) 青森県三八地域県民局地域連携部(観光誘客・物産振興) 青森県観光企画課(観光誘客) 青森県地域産業課、総合販売戦略課(物産振興)</p>	
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>(観光誘客) 鮫観光協会、種差観光協会、南郷観光協会、三戸町観光協会、 五戸町観光協会、田子町観光協会、南部町観光協会、階上町観光協会 新郷村観光協会、おいらせ町観光協会、八戸ホテル協議会、 JR 東日本旅客鉄道盛岡支社、岩手県北バス、八戸市交通部、 八戸市タクシー協会 (物産振興) 八戸商工会議所、南郷商工会、三戸町商工会、五戸町商工会(新郷支所含む) 田子町商工会、南部町商工会、階上町商工会、おいらせ町商工会、 三八地区商工会連絡協議会、南郷物産協会</p>	
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>(該当する要件) ② (概要) 行政、商工団体、観光団体、物産関係団体、宿泊事業者、交通事業者等、多様な関係者が参加する部会を設置。定期的に部会を開催し、構成団体等から実施事業に関する意見等を聴取。事務局では部会意見を考慮のうえ実施事業を検討し、民間事業者、商工団体、金融機関、宿泊事業者等で構成される理事会にて執行事業を決定することで、官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図る。 (合意決定フロー図)</p> 	

(別添) 様式 1

<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>地域住民に対しては、随時、取組概要等説明を行う場を設け、意識啓発及び参画促進を図っている。 (平成 31 年度の概要等説明実施実績)</p> <table border="1" data-bbox="483 226 1414 416"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>説明先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月13日</td> <td>(公社)八戸法人会女性部通常総会前講演会</td> </tr> <tr> <td>4月23日</td> <td>東北新幹線二戸駅利用促進協議会総会</td> </tr> <tr> <td>6月1日</td> <td>八戸さんぽマイスター総会</td> </tr> <tr> <td>6月10日</td> <td>八戸中心市街地連絡協議会研修会</td> </tr> </tbody> </table>	日時	説明先	5月13日	(公社)八戸法人会女性部通常総会前講演会	4月23日	東北新幹線二戸駅利用促進協議会総会	6月1日	八戸さんぽマイスター総会	6月10日	八戸中心市街地連絡協議会研修会																																																																																											
日時	説明先																																																																																																					
5月13日	(公社)八戸法人会女性部通常総会前講演会																																																																																																					
4月23日	東北新幹線二戸駅利用促進協議会総会																																																																																																					
6月1日	八戸さんぽマイスター総会																																																																																																					
6月10日	八戸中心市街地連絡協議会研修会																																																																																																					
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要) 平成 31 年 4 月に一般財団法人八戸地域地場産業振興センターを母体として、公益社団法人八戸市物産協会及び公益社団法人八戸観光コンベンション協会を合併、八戸広域観光推進協議会及び市の一部観光物産事業の統合により設立。</p> <p>(定量的な評価)</p> <p>はちのへエリア延べ宿泊者数実績 (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="497 741 1417 857"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">延べ宿泊者数</td> <td>2018年度</td> <td>63,538</td> <td>70,195</td> <td>73,501</td> <td>75,132</td> <td>90,122</td> <td>77,356</td> <td>82,856</td> <td>77,295</td> <td>72,711</td> <td>66,587</td> <td>63,631</td> <td>70,292</td> <td>883,216</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>60,771</td> <td>66,747</td> <td>68,723</td> <td>71,454</td> <td>82,278</td> <td>72,889</td> <td>72,983</td> <td>64,300</td> <td>66,811</td> <td>53,660</td> <td>55,970</td> <td>58,341</td> <td>794,928</td> </tr> <tr> <td>2016年度</td> <td>56,586</td> <td>62,711</td> <td>64,471</td> <td>70,074</td> <td>79,053</td> <td>68,629</td> <td>73,857</td> <td>63,738</td> <td>59,456</td> <td>51,305</td> <td>53,034</td> <td>62,679</td> <td>767,205</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※はちのへエリア構成市町村(八戸市、階上町、五戸町、新郷村、田子町、三戸町、南部町、おいらせ町)内にある宿泊施設で、延べ宿泊者数のご提供にご協力頂いている施設のデータを合算して算出。</small></p> <p>2018年度 訪日外国人延べ宿泊客数 (単位：人泊)</p> <table border="1" data-bbox="497 1025 1417 1160"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018年度</td> <td>3,146</td> <td>1,517</td> <td>1,286</td> <td>2,374</td> <td>4,387</td> <td>1,414</td> <td>4,333</td> <td>1,548</td> <td>914</td> <td>805</td> <td>1,056</td> <td>856</td> <td>23,636</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>1,927</td> <td>1,109</td> <td>780</td> <td>1,527</td> <td>2,639</td> <td>1,075</td> <td>4,403</td> <td>1,773</td> <td>876</td> <td>762</td> <td>1,295</td> <td>1,019</td> <td>19,185</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※集計対象：ホテル協議会18ホテル+非加盟ホテル5ホテル</small></p>			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	延べ宿泊者数	2018年度	63,538	70,195	73,501	75,132	90,122	77,356	82,856	77,295	72,711	66,587	63,631	70,292	883,216	2017年度	60,771	66,747	68,723	71,454	82,278	72,889	72,983	64,300	66,811	53,660	55,970	58,341	794,928	2016年度	56,586	62,711	64,471	70,074	79,053	68,629	73,857	63,738	59,456	51,305	53,034	62,679	767,205			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2018年度	3,146	1,517	1,286	2,374	4,387	1,414	4,333	1,548	914	805	1,056	856	23,636	2017年度	1,927	1,109	780	1,527	2,639	1,075	4,403	1,773	876	762	1,295	1,019	19,185
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																								
延べ宿泊者数	2018年度	63,538	70,195	73,501	75,132	90,122	77,356	82,856	77,295	72,711	66,587	63,631	70,292	883,216																																																																																								
	2017年度	60,771	66,747	68,723	71,454	82,278	72,889	72,983	64,300	66,811	53,660	55,970	58,341	794,928																																																																																								
	2016年度	56,586	62,711	64,471	70,074	79,053	68,629	73,857	63,738	59,456	51,305	53,034	62,679	767,205																																																																																								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																								
2018年度	3,146	1,517	1,286	2,374	4,387	1,414	4,333	1,548	914	805	1,056	856	23,636																																																																																									
2017年度	1,927	1,109	780	1,527	2,639	1,075	4,403	1,773	876	762	1,295	1,019	19,185																																																																																									
<p>実施体制</p>	<p>(実施体制の概要) (一財)VISITはちのへが中心となり、行政、八戸商工会議所、各市町村商工会及び観光協会、交通事業者、宿泊事業者、観光・物産関連団体など、多様な関係者と密接に連携した運営を実施。</p> <p>(実施体制図)</p>																																																																																																					

## 2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町の8市町村は、藩政時代から歴史的・文化的な共通点が多く、方言や粉もの文化など独自性の強い文化を共有してきた地域であり、現在では、当該8市町村にて八戸圏域連携中枢都市圏を形成し、連携を深めながら地域活力の創出につながる連携事業に取り組んでいる。

そのような当区域において、(一財)VISIT はちのへの事業統合団体である八戸広域観光推進協議会では、平成20年7月設立以来、当該地域の特性や資源を活かした新たな観光商品やメニュー等を開発・商品化するなど、広域連携による観光振興に向けた取り組みを牽引してきたところであり、平成29年3月、行政、商工、観光団体等多様な主体が参画のもと、当区域の広域観光の戦略「はちのへエリア広域観光戦略」を策定した。

今後、当該区域が、訪日外国人の増加、国内旅行市場の縮小などの変化に対応し、観光を通じて、地域産業の振興やまちづくりの推進につなげ、地域の活力創出につなげていくためには、これまでのつながりを更に深化させながら、当該8市町村の有する魅力的な資源を活用して「はちのへエリア広域観光戦略」に基づく事業を展開していくことが必要不可欠である。

よって、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切である。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

別紙のとおり

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

当区域内の宿泊施設については、八戸市に集中して分布しており、同市には31軒のホテルと24軒の旅館等を中心に約4,900人の収容力がある。

【利便性：区域までの交通、域内交通】

当区域の首都圏等からの玄関口となる八戸市への主要アクセスは、以下のとおり。

○鉄道

- ・東京都：約2時間45分（東北新幹線「東京駅」）
- ・仙台市：約1時間10分（東北新幹線「仙台駅」）
- ・青森市：約25分（東北新幹線「新青森駅」）
- ・函館市：約1時間30分（北海道新幹線「新函館北斗駅」）

○飛行機(各空港－三沢空港、三沢空港－八戸の連絡バスの所要時間を加えた時間)

- ・東京(羽田)：約2時間10分(羽田－三沢空港：1時間20分、三沢空港－八戸：約50分)
- ・大阪(伊丹)：約2時間20分(伊丹－三沢空港：1時間30分、三沢空港－八戸：約50分)

八戸市から当区域内各町村への所要時間は、東北新幹線八戸駅から自動車ですべて1時間30分圏内。

(別添) 様式 1

<p>【外国人観光客への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人人材（米国）を平成 30 年度より雇用。（統合団体である八戸観光コンベンション協会）外国語版 SNS「VISIT-HACHINOHE」を開設。当区域の情報を外国人目線にて積極的に発信。また、インバウンド受入体制強化を図るため、英語表記のメニュー等を作成・設置</li> <li>・観光パンフレットの外国語表記対応（英語、中国語（繁体字・簡体字））</li> <li>・観光案内所「はちのへ総合観光プラザ」の Wi-Fi 環境の整備（カテゴリー II 対応）</li> <li>・「指差しシート」などのコミュニケーションツールを活用。</li> </ul>
--

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
延べ宿泊者数	DMO の取組効果把握と今後の効果的な施策立案につなげるため	独自の調査を実施
旅行消費額（平均）	DMO の取組効果把握と今後の効果的な施策立案につなげるため	独自のインターネット調査を実施
来訪者満足度	満足度及び課題の把握につなげるため	
リピーター率	DMO の取組効果把握と今後の効果的な施策立案につなげるため	
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	自社 HP を活用して実施(Google アナリティクスにて収集)

## 4. 戦略

### (1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p><b>強み (Strengths)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷涼な風土で発達した独自の粉もの文化</li> <li>・豊かな自然から生み出される新鮮な農産物や海産物</li> <li>・豊かな海岸地形・自然景観（三陸復興国立公園等）</li> <li>・縄文時代・藩政時代などの歴史・史跡</li> <li>・南部地域の人柄と暮らしぶり（方言・素朴さ）</li> <li>・朝市・横丁などの生活文化</li> </ul>	<p><b>弱み (Weaknesses)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次交通の整備</li> <li>・外国人観光客受入体制の強化</li> <li>・地域資源の活用・磨き上げ・商品づくり</li> </ul>
外部環境	<p><b>機会 (Opportunity)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客の増加</li> <li>・陸・海・空の交通アクセスの充実（新幹線、高速道路、フェリー、空港など）</li> </ul>	<p><b>脅威 (Threat)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も見込まれる少子高齢化による人口減少</li> <li>・地域間における旅行需要取り合いの激化</li> </ul>

### (2) ターゲット

<p>○第 1 ターゲット層 欧米豪からの外国人観光客</p>
<p>○選定の理由、○取組方針</p> <p>欧米豪の旅行者は、その国の原点や原風景、ありのままの自然に高い関心を持っている。当地域は、三陸復興国立公園種差海岸や、産業都市として発展してきた背景に育まれた豊かな食文化やヨーロッパの「バル」を連想させる横丁など、まさに日本の原点や原風景が体感できる場所であり、欧米豪旅行者の来訪可能性が高いものである。</p> <p>また、当区域で最も宿泊施設を有する八戸市に宿泊した外国人観光客を国別にみた場合、米国からの来訪者が 2 番目に多い。これは、近隣(三沢市)に米軍基地があるなどい</p>

(別添) 様式 1

<p>くつかの要因が考えられるが、他の地域には見られない当地域の特徴といえる。</p> <p>インバウンド市場は拡大傾向にあることも考慮すると、前述した当地域ならではの特徴に特化し、他地域と差別化したインバウンド対応を進めることが効果的と考える。</p> <p>今後は、欧米豪7か国に現地エージェントを配置し来訪可能性調査並びに当該調査により来訪可能性が高いとされる2か国へ、現地エージェントの知見等を活用した情報提供やセールスコール、現地メディア招聘等に取り組み、当地域への来訪を促進する。また、現在雇用している外国人人材による積極的な情報発信、受入環境充実につとめるとともに、独自のアンケート調査結果など交えながら、ターゲット来訪に繋げる効果的な施策実施に取り組む。</p>
<p>○第2ターゲット層 首都圏からの観光客</p>
<p>○選定の理由、○取組方針</p> <p>昨年度実施した独自のアンケート調査では、首都圏からの観光客が北東北に次ぐ2番目に来訪の多い地域であり、その約8割が1泊以上滞在している結果となっている。当該結果を踏まえると、首都圏からの観光客の増加を目指すことは、KPIに設定している延べ宿泊者数、観光消費額の増加に大きく寄与するものである。</p> <p>今後は、独自のアンケート調査結果を踏まえながら、観光資源の掘り起こしや商品作り、周遊ルート開発等、当区域の魅力を活かした誘客推進に関する施策実施に取り組む。</p>
<p>○第3ターゲット層 東北地域からの観光客</p>
<p>○選定の理由、○取組方針</p> <p>昨年度実施した独自のアンケート調査において、東北地域からの訪問者は、全体の7割以上を占めており、特に北東北3県は日帰り客が多くリピーター率が高いなど、KPIに設定している観光消費額の増加に大きく寄与するものである。</p> <p>今後は、独自のアンケート調査結果を踏まえながら、観光資源の掘り起こしや商品作り、周遊ルート開発等、当区域の魅力を活かした誘客推進に関する施策実施に取り組む。</p>

(3) コンセプト

<p>①コンセプト</p>	<p>はちのへエリアだからこそその“ひとの魅力”と“暮らしぶり”が守られ、伝わっていること</p>
<p>②コンセプトの考え方</p>	<p>当区域に暮らす人の温厚でまじめといわれる人柄、朝市や横丁文化などといった古くから受け継がれ今も営まれている素朴な暮らしは、他地域にはない独自の魅力である。</p> <p>よって、この独自の魅力が失われることなく守られ、当区域の人々が良さを理解し、その良さが来訪者に伝わることで、来訪者の増加につながり、地場産業の振興が図られるものとする。</p>

## 5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	当区域内の行政、商工・観光団体、交通・宿泊事業者など多様な参加者によって構成される部会を設置し、DMOが行う事業等についての情報共有、意見交換等を実施（年4回程度）。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	インターネット等による独自アンケート調査の結果をもとに当区域における課題の分析を実施。来訪者から寄せられた不満な点や楽しみにしていたこと、KPI達成度合いを一体的に事務局（経営マーケティング戦略 Sec.）にて評価を実施。評価を踏まえた事業内容を事務局にて検討するとともに、各部会からの意見を踏まえながら、理事会にて業務執行の決定を得て、サービスの維持・向上につながる取り組みを展開していく。
一元的な情報発信・プロモーション	自社HPをはじめとするSNSを活用し、当区域内の観光・物産情報や旅行商品販売等を一元的に発信。効果的なプロモーションを図る。

## 6. KPI（実績・目標）

### （1）必須KPI

指標項目		単位	2017年 (実績)	2018年 (実績)	2019年 (目標)	2020年 (目標)	2021年 (目標)	2022年 (目標)
●旅行消費額	宿泊客	円	20,810	22,585	22,711	23,159	23,618	24,088
	日帰り	円	3,865	4,816	3,825	3,924	4,025	4,129
●延べ宿泊者数		人泊	794,928	882,443	787,036	810,647	834,966	860,015
●来訪者満足度	宿泊客	%	37	36	37	38	39	40
	日帰り	%	28	29	30	31	32	33
●リピーター率	宿泊客	%	69	76	66	66	66	66
	日帰り	%	83	80	83	83	83	83

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

#### 【検討の経緯】

当区域における広域観光の戦略「はちのへエリア広域観光戦略」の成果指標設定のため、同戦略を策定した八戸広域観光推進協議会が主体となり、「はちのへエリア観光マーケティング調査」実施による観光基礎データを収集するとともに、当区域の行政、観光・商工団体をメンバーとしたワーキング会議を開催し、当該会議にて目標値を検討・設定したものの。

#### 【設定にあたっての考え方】

##### ●旅行消費額

宿泊客及び日帰り客の平均旅行消費額の2017年12月速報値を対象とし、お土産費、飲食費は対前年度比3%増、交通費、宿泊費、施設入場料・体験料は1%増の合計金額の目標値に設定

※2017年12月速報値

(単位:円)

	総額	お土産費	飲食費	交通費	宿泊費	施設入場・体験料
宿泊客	22,274	4,683	6,031	2,871	8,323	366
日帰り客	3,729	1,508	1,425	709	—	87

(別添) 様式 1

<p>●延べ宿泊者数 2016年度の延べ宿泊者数(764,113人泊)を対象とし、2018年度は現状維持。 2019～2022年度にかけて、前年度比3%増の数値を目標値に設定。</p> <p>●来訪者満足度 宿泊客及び日帰り客の来訪者満足度の2017年12月速報値(宿泊客:35.5%、日帰り客:28.7%)を対象とし、2018年度は現状維持。2019～2022年度にかけて、前年度比1%増の数値を目標値に設定。</p> <p>●リピーター率 観光目的で訪れた宿泊客及び日帰り客のリピーター率の2017年12月速報値(宿泊客:65.8%、日帰り客:82.9%)を対象とし、2018年度は現状維持。2019～2022年度にかけて、前年度維持の数値を目標値に設定。</p>
--

(2) その他の目標

指標項目	単位	2017年 (H29度)	2018年 (H30度)	2019年 (H31度)	2020年 (H32度)	2021年 (H33度)	2022年 (H34度)
●はちのへエリアの自慢できる魅力を何個いえるか	個	5.85	5.01	6.85	7.85	8.85	9.85

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

<p><b>【検討の経緯】</b> 当区域における広域観光の戦略「はちのへエリア広域観光戦略」における成果指標として「はちのへエリアの自慢できる魅力を何個言えるか」を設定。当区域の行政、観光・商工団体をメンバーとしたワーキング会議にて、2017年調査結果をもとに目標値を検討・設定したものの。</p> <p><b>【設定にあたっての考え方】</b> ●2017年度の調査結果(平均5.85個)を対象とし、2018年度は現状維持、2019～2020年度にかけては、前年度比1個増を目標値に設定。</p>
--

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入(円)	内訳
31年度 (予定)	716,000,000(円)	<p>【事業収入等】 414,900,000円 ・即売事業、貸館事業、駐車場事業、家賃収入等</p> <p>【国補助金等】 11,000,000円</p> <p>【市町村からの補助金(八戸市)】 186,000,000円 ・行事補助、インバウンド事業、マーケティング事業等</p> <p>【市町村からの業務受託等(八戸市)】 85,000,000円 ・観光施設指定管理、観光案内所委託等</p> <p>【負担金収入(圏域町村分他)】 5,100,000円</p> <p>【会費収入】 14,000,000円</p>
32年度 (予定)	717,645,000(円)	<p>【事業収入等】 418,545,000円 ・即売事業、貸館事業、駐車場事業、家賃収入等</p> <p>【国補助金等】 7,000,000円</p> <p>【市町村からの補助金(八戸市)】 188,000,000円 ・行事補助、インバウンド事業、マーケティング事業等</p> <p>【市町村からの業務受託等(八戸市)】 85,000,000円 ・観光施設指定管理、観光案内所委託等</p> <p>【負担金収入(圏域町村分他)】 5,100,000円</p> <p>【会費収入】 14,000,000円</p>



## (別添) 様式 1

33年度 (予定)	718,741,000 (円)	<b>【事業収入等】</b> 420,641,000 円 ・ 即売事業、貸館事業、駐車場事業、家賃収入等 <b>【国補助金等】</b> 6,000,000 円 <b>【八戸市補助金 (八戸市)】</b> 188,000,000 円 ・ 行事補助、インバウンド事業、マーケティング事業等 <b>【市町村からの業務受託等 (八戸市)】</b> 85,000,000 円 ・ 観光施設指定管理、観光案内所委託等 <b>【負担金収入 (圏域町村分他)】</b> 5,100,000 円 <b>【会費収入】</b> 14,000,000 円
--------------	-----------------	---

## (2) 支出

年度	総支出	内訳
31年度 (予定)	716,000,000 (円)	<b>【委託費】</b> 11,683,000 円 ・ 自施設清掃・設備保守等 <b>【物品等仕入】</b> 29,590,000 円 <b>【修繕費】</b> 10,010,000 円 ・ 施設修繕等 <b>【その他管理経費等】</b> 309,717,000 円 ・ 人件費、光熱水費、租税公課費、減価償却費等 <b>【事業費】</b> 355,000,000 円 ①マーケティング費 15,000,000 円 ②プロモーション費 24,394,000 円 ③旅行商品造成費 2,689,000 円 ④特産品開発費 55,340,000 円 ⑤受入環境整備費 91,932,000 円 ⑥自施設活用事業 105,787,000 円 ⑦行事補助事業(三社大祭・えんぶり) 46,439,000 円 ⑧その他(種差海岸 PR 事業等) 13,419,000 円
32年度 (予定)	717,645,000 (円)	<b>【委託費】</b> 11,683,000 円 ・ 自施設清掃・設備保守等 <b>【物品等仕入】</b> 29,590,000 円 <b>【修繕費】</b> 10,010,000 円 ・ 施設修繕等 <b>【その他管理費等】</b> 309,717,000 円 ・ 人件費、光熱水費、租税公課費、減価償却費等 <b>【事業費】</b> 356,645,000 円 ①マーケティング費 15,000,000 円 ②プロモーション費 26,039,000 円 ③旅行商品造成費 2,689,000 円 ④特産品開発費 55,340,000 円 ⑤受入環境整備費 91,932,000 円 ⑥自施設活用事業 105,787,000 円 ⑦行事補助事業(三社大祭・えんぶり) 46,439,000 円 ⑧その他(種差海岸 PR 事業等) 13,419,000 円
33年度 (予定)	718,741,000 (円)	<b>【委託費】</b> 11,683,000 円 ・ 自施設清掃・設備保守等 <b>【物品等仕入】</b> 29,590,000 円 <b>【修繕費】</b> 10,010,000 円 ・ 施設修繕等 <b>【その他事務費等】</b> 309,717,000 円 ・ 人件費、光熱水費、租税公課費、減価償却費等 <b>【事業費】</b> 357,741,000 円 ①マーケティング費 15,000,000 円 ②プロモーション費 27,135,000 円

(別添) 様式 1

		③旅行商品造成費	2,689,000 円
		④特産品開発費	55,340,000 円
		⑤受入環境整備費	91,932,000 円
		⑥自施設活用事業	105,787,000 円
		⑦行事補助事業(三社大祭・えんぶり)	46,439,000 円
		⑧その他(種差海岸 PR 事業等)	13,419,000 円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

自社施設ユートリーにおける物産品販売事業、宿泊事業、駐車場事業による収益、旅行商品販売収入、会費収入により運営資金を確保する。

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

青森県八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町は、一般財団法人 VISIT はちのへが当該市町村を対象とした地域連携 DMO の形成・確立に向け、その候補法人として登録することに同意します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	木下 里美
担当部署名(役職)	国内誘客物産課 主事
所在地	青森県八戸市一番町9番22号
電話番号(直通)	0178-70-1110
FAX 番号	0178-80-7348
E-mail	satomi_kinoshita@visithachinohe.or.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	青森県八戸市
担当者氏名	佐々木 伸也
担当部署名(役職)	観光課 企画グループ(主査)
所在地	青森県八戸市内丸一丁目1番1号
電話番号(直通)	0178-43-9536
FAX 番号	0178-46-5600
E-mail	Shi_sasaki@city.hachinohe.aomori.jp

都道府県・市町村名	青森県三戸町
担当者氏名	澤山 公平
担当部署名(役職)	まちづくり推進課 商工観光班(主査)
所在地	青森県三戸郡三戸町大字在府小路町43
電話番号(直通)	0179-20-1117
FAX 番号	0179-20-1102
E-mail	sawayama@town.sannohe.lg.jp

## (別添) 様式 1

都道府県・市町村名	青森県五戸町
担当者氏名	中村 知広
担当部署名 (役職)	総合政策課 総務班 (主事)
所在地	青森県三戸郡五戸町字古館 21-1
電話番号 (直通)	0178-62-7953
FAX 番号	0178-62-6317
E-mail	sougouseisaku@town.gonohe.aomori.jp

都道府県・市町村名	青森県田子町
担当者氏名	川村 僚
担当部署名 (役職)	産業振興課 商工振興グループ (主事)
所在地	青森県三戸郡田子町大字田子字天神堂平 81
電話番号 (直通)	0179-20-7114
FAX 番号	0179-32-4294
E-mail	Kawamura0562@town.takko.lg.jp

都道府県・市町村名	青森県南部町
担当者氏名	八木田 信夫
担当部署名 (役職)	交流推進課 達者村推進班 (班長)
所在地	青森県三戸郡南部町大字苫米地字下宿 23-1
電話番号 (直通)	0178-84-2123
FAX 番号	0178-84-2592
E-mail	yagita-shinobu@town.aomori-nanbu.lg.jp

都道府県・市町村名	青森県階上町
担当者氏名	下畑 大輝
担当部署名 (役職)	産業振興課 商工観光グループ (主事)
所在地	青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平 1-87
電話番号 (直通)	0178-88-2875
FAX 番号	0178-88-2117
E-mail	daiki_shi@town.hashikami.lg.jp

都道府県・市町村名	青森県新郷村
担当者氏名	横道 敏克
担当部署名 (役職)	企画商工観光課 商工観光係 (係長)
所在地	青森県三戸郡新郷村大字戸来字風呂前 10
電話番号 (直通)	0178-78-2111
FAX 番号	0178-78-2118
E-mail	t_yokomichi@vill.shingo.lg.jp

都道府県・市町村名	青森県おいらせ町
担当者氏名	橋本 彰
担当部署名 (役職)	商工観光課 観光係 (主任主査)
所在地	青森県上北郡おいらせ町上明堂 60-6
電話番号 (直通)	0178-56-4703
FAX 番号	0178-56-4264
E-mail	akira-hashimoto@town.oirase.lg.jp

【区域】八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町 (表：実施体制)

(表：KPI(実績・目標))

階上町、新郷村、おいらせ町

【設立時期】31年4月1日

【代表者】理事長 塚原 隆市

【経営マーケティング戦略責任者】村木 智裕

【マーケティング責任者】西野 正紀(専従)

【職員数】85名

【連携する主な事業者】

各市町村観光協会・八戸商工会議所・

各市町村商工会・南郷物産協会

八戸ホテル協議会、八戸市タクシー協会など



		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
旅行消費額 (円)	宿泊客	20,810	22,274	22,711	23,159	23,618
	日帰り客	3,865	3,729	3,825	3,924	4,025
延べ宿泊者数(人)		794,928	794,928	818,775	843,338	868,638
来訪者満足度 (%)	宿泊客	37	36	37	38	39
	日帰り客	28	29	30	31	32
リピーター率 (%)	宿泊客	69	66	66	66	66
	日帰り客	83	83	83	83	83

### インバウンドに関する取組

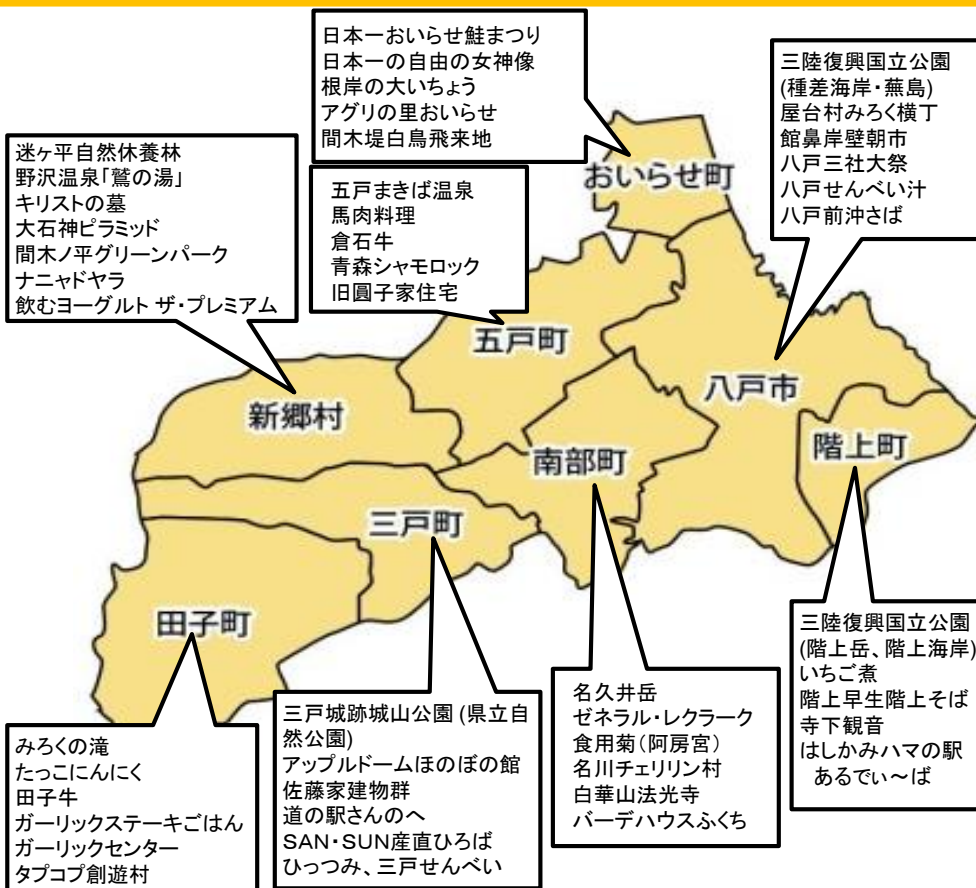
- ターゲットは、国別宿泊者数第2位の米国をはじめとする欧米豪。
- 専門人材として外国人人材(米国人)を採用。外国語版フェイスブック「VISIT-HACHINOHE」等を開設し、地域内8市町村の食・自然・文化など魅力あふれる観光資源を情報発信。
- 海外の現地エージェンシーを活用したエージェンシープロモーション事業を実施。

### 大型コンベンション誘致に関する取組

- 県内最大のコンベンション施設屋内スケート場「YSアリーナ」(H31年7月竣工)、八戸駅西口に建設されるスケート場「フラット八戸」(2020年春竣工)を有効に活用し、大型コンベンション誘致を図る。
- 誘致に向け補助制度の拡充を図る。

### スポーツツーリズムを活かした取組

- 県内プロスポーツチームと融合した誘客
- 屋内スケート場をはじめとする多様なスポーツ施設を活用した大会・合宿誘致



### 地域商社に関する取組

- 当地域内にある付加価値の高い四季折々の地場産品の国内販路拡大を目指し、首都圏レストラン等向けの新たな物流ルート構築に取り組む。
- 新たな商品の開発や認定制度の構築による付加価値アップを目指す。
- インバウンドに関する取り組みと融合した米国向け輸出による海外販路拡大を目指す

### 八戸圏域の強みを活かした取組

- 当区域内市町村がそれぞれもつ昼間と朝夜の強みを活かした取り組みを展開。
- 区域内各市町村が有する新鮮な海産物、肉、農産物、果物等食資源や、自然、文化施設、朝市や横丁といった地域ならではの観光資源を組み合わせ、広域周遊ルート開発などに取り組む。
- 当区域内において誰もが楽しく周遊できるよう二次交通のネットワーク強化などについて検討を行う。